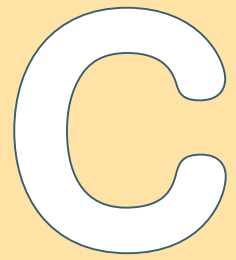




かいせつ

しゃしんとうこう 写真投稿のトラブル



どうなる？



スマートフォンやタブレットのカメラを使うと、写真や動画を簡単にとって、SNSに投稿することができます。とても便利ですが、使い方をまちがえるとトラブルにつながることもあります。

① 写真や動画にはたくさんの情報が写っている

- 写真や動画には、人の顔だけでなく、制服、学校名、家のまわりの風景、持ち物など、いろいろな情報が写っています。何も考えずに投稿してしまうと、知られたくない自分や人の情報までわかってしまい、こわい思いをすることがあります。

② 写真には許可が必要

- 友達やまわりの人が写っている写真を、許可なく投稿すると、トラブルになることがあります。自分では「楽しい写真」でも、写っている人にとっては「のせてほしくない写真」のこともあります。

● 拡散により人間関係の問題やつきまとい被害になることも

こうした写真や動画の投稿は自分が思いもよらないスピードで、知らない人まで拡散されてしまう可能性ががあります。こうしたことがきっかけで、友達との関係が上手くいかなくなってしまうたり、知らない人からのつきまといの被害につながってしまうことがあります。

どうする？



① 投稿する前に「写っているもの」をよく見よう

- 写真や動画を投稿する前に、顔だけでなく、背景や持ち物にも目を向けてみましょう。「この写真から、どんなことが分かるかな？」と考えることで、知られたくない情報が広がるのを防ぐことができます。また、撮った写真や動画をすぐに投稿せず、少し時間をおいてから考えることも、大切なくふうです。

② これまでの投稿と合わせて考えてみよう

- SNSでは、前に投稿した写真や動画も見ることができます。1つ1つの投稿に気をつけていても、過去の投稿と合わせることで、かくしたつもりの情報がわかってしまうことがあります。たとえば、前の写真から服そうがわかり、顔をかくしていても「だれか」がわかってしまうこともあります。投稿するときは、今の写真だけでなく、これまでの投稿と合わせてわかることがないかも考えてみましょう。

考えてみよう

(使い方やルールをを考えてみよう)



- 人の顔や名前が写っている写真を公開していいのは
() まで

例：家族、許可を取った友達

- () が
写っている写真はネットで公開しない

例：学校名、住所

- 困ったときや判断に迷うときは
() に相談する

例：おうちの人



保護者の方へ



【家庭で気をつけたいこと】

写真投稿に関するトラブルは、**子供自身が「危険だと気づきにくい」**ことが特徴です。楽しさや便利さが先に立ち、どのような情報が広がるのかを想像しにくいからです。家庭では、「この写真には何が写っているかな」「誰が見る可能性があるかな」といった問いかけを通して、子供と一緒に写真を見る機会をつくるのが有効です。

また、子供が投稿した写真について注意が必要な場合でも、一方的に削除を求めるのではなく、「なぜ心配なのか」を丁寧に伝え、理解につなげる関わり方が大切です。

【ルールの決め方】

写真投稿に関するルールを決める際には、「自分以外が写っている写真は必ず相手に投稿許可の確認をする」「制服や学校名が分かる写真は投稿しない」「困ったときはすぐ相談する」といった、具体的な行動がわかる内容を含めるとよいでしょう。また、こうしたSNSの使い方は保護者の使い方を模倣していることも多くあります。保護者も含めて家庭でルールを話し合い、気をつけるべきポイントを共有しておくことがトラブルの予防につながります。